

月の養蜂だより

1月号

今月のひとこと

「何もしない時間があってもいい。」
年が変わると、何か始めなきゃ、という気がします。
でもミツバチを見ていると、
「今は動かない」という選択も、立派な仕事なんだと教えられます。

蜂蜜のプチ知識

蜂蜜の結晶化

冬のはちみつは、固まって当たり前。
寒い時期になると「白く固まってきたけど大丈夫ですか？」と聞かれることがあります。
結晶するのは、加熱していない、自然のままの蜂蜜だからこそ。
ぬるめのお湯(40℃前後)でゆっくり戻してみてください。

ちょっとだけ環境の話

僕が育てているセイヨウミツバチは、
日本では野生化できないミツバチ
この環境での飼育には、必ず人の手が必要になります。

養蜂家のひとりごと

与えることは、ミツバチの本能です。
見返りを求めず、ただ次へつないでいく。
僕は「恩返し」より、「恩送り」を大切にしたいと思っています。

今月のミツバチ:養蜂の話

1月のミツバチは、ほとんど飛びません。
巣の中で身を寄せ合い、体温を保ちながら春を待ちます。養蜂家としてできることも多くありません。余計な手出しをせず、見守ることが一番の仕事になります。「手を出さない勇気」これも養蜂の大切な一部です。

冬のミツバチは黒い？

1月のミツバチは、少し黒っぽい
「ウインタービー」になります。
通常2か月ほどで命を終える働き蜂が
冬を越すために半年近く生き続けます。

今月の一枚

現在、今年の養蜂場の準備をしています。
写真は秋口そのままにしたままの養蜂場。



ここまで読んでくださり、ありがとうございます。
この会報は、売るための場所ではありません。
ミツバチや蜂蜜、環境などについて、少しでも身近に感じてもらえたら嬉しいです。